〔日曜日〕　磐城新聞　第三千六百七十八號　昭和八年三月十九日　〔第二種郵便物認可〕

青い灯

六

八幡秋月

玲子は冷め度くなつた紅茶を取り上げて口端まで運んだが此のまゝにして

『ゆうべ、耕一さんが來たつたわ』

『え？』

刹那！あや子の淋しい眉に不快の色がチラリと走つた、耕一もあや子に戀してる男の一人だつた。

『耕一さんが？』

『え』と玲子はうなづいてから

『だけど姿、あの人嫌だわ昨夜なんかも隨分くどくあんたの事聞いてたわ、あんまりくどくした嫌らしい氣持、もつてるんですもの好意なんか全然もてないわあたし』

『そうね』

玲子は冷め度くなつた紅茶をゴクリと飲んでから紅茶碗を下に置いて

『姿、あの人が來る毎につく〳〵商賣の賤さが情けなく想はれるわ』

『あたしもそうよ』

あや子は同感と言ふ様にうなづいた

玲子は尚語をついで

『とても卑劣なのよ、何事でも金、金つて、金で我意を通そうとするんですもの幾らしがない女給商賣はしてゝも意地もあるし張りもあるわ、そんなに金で自由に動く程堕落はしてないわね、姿し嫌だわ、それに少しでも好意をみせようものなら、すぐ唇を要求したりするんですもの』

『そうね』とあや子は淋しく答へて

『だけど男つてみんな、そうぢやないか知ら？』

『サア歸りませう』

『え！』

二人はボーイの『有り難う存じます』を後に聞いてホールのドアを開いた時出合頭に四五人連の男達と會つた

『やア……』

身を退いた二人は男に呼びかけられて驚いて瞳を上の知る限りの男達の姿が次々と浮かんだ

正午に近い喫茶店は漸く人の出入りが多くなつて來た、玲子は尚、何かとあや子の留守だつた昨夜の店の出來事を語つてたがやがて氣がついた様に

『もう歸りませう』と立ち上つた

『え』あや子もハンドバッグを取上げて椅子を離れた

『ボーイさん、此處へ置く何處へ行つてたんだへ？』

好色的な卑しい笑を口許に浮べた耕一の顏。玲子は不快氣にフイと瞳を外らして仕舞つた

『しばらくです』あや子は仕様事なしに立止つて會釋した

『昨夜、久し振りで顏みに行つたつたが居なかつたネ』

『つたしばらくだつたね』

『あたぼうよ、彼所のまないたなら跳ねえがあらア尚卒業生二十八名中二十七名は進學並に各商店會社に就職すると

思ふさま暴れてやつて、活きた鯉の膾つ振を見せてやらうかい』

遠州屋では一時經たぬうちに騒ぎが起つた、お蝶を介抱して連戻つたお萩の話しと、お蝶から聞取つた事

大目だよ、おや〳〵女子の様だ、如何おしだね、ちよいと急病かいツ』

側に寄つて提灯をかざして見ると顏を被に眞蒼な唇を咬んでゐるのが、尋ねるお蝶であつたのであつとばかりにおどろいて急いでそれと抱起した

『コーレ、お蝶さん、しし、しつかり……しつかりなさいよ、わ、わ、私だよツ、お蝶さんやア……』

呼び立てる聲のしげきでお蝶はあつと我に復つた！さうして幽かに眼を開いた

『よし來たツ、相手が千葉なら不足は無え、こんな喧嘩なら願つても買つて見てね、おい德、男に取つて好い死場所だ、確乎やらうぜ！』

『あたぼうよ、彼所のまないたなら跳ねえがあらア尚卒業生二十八名中二十七名は進學並に各商店會社に就職すると

思ふさま暴れてやつて、活きた鯉の膾つ振を見せてや就職すると

らうかい』

遠州屋では一時經たぬうちに騒ぎが起つた、お蝶を介抱して連戻つたお萩の話しと、お蝶から聞取つた事

夕刊
三月十八日發行
定價一ヶ月金五拾錢（郵税拾錢）
廣告料金（一段通金六拾錢 金九拾錢 金壹圓）
磐城新聞社
（日曜祭日翌日休刊）

拈華微笑

高月に揚土。兩蠶上の勇士が龍虎相搏つ春の野球戰こそ見ものゝ新陣容を整へて

◇

競技部の新選手何等の活躍ぞやな體の一つや二つ、なますに切つて叩きにされたとこが何の未練が殘るものかな、さ、手前共の命は私が貰つた急いでやつて呉んないゝかえ』

◇

固定ネットの下スパイクを高鳴らす平商の新鋭

◇

あす日曜。漸く朝暾、佐川德壽、鈴木公鈴木常藏、鈴木達男、鈴木文平、髙崎修一、○手代木忠一、新妻德松、新洞敎會修證義』秋田縣金浦町耕博寺住職砂川天然獨唱：原田君代

◇

肩を聳かす高月眞に活潑々地。

◇

あす日曜。漸く朝暾、佐川德壽、鈴木公鈴木常藏、鈴木達男、鈴木文平、髙崎修一、○手代木忠一、新妻德松、新洞敎會修證義』秋田縣金浦町耕博寺住職砂川天然獨唱：原田君代

◇……○

◇

ピクニックにゝ

◇

ろし

◇

○

春の沼

島田忠夫

おたまじやくしか出てきます
白い頬べたふくらまるもりが泡をすてにくるあか腹みせてしづみますげんごらう虫おいでく沼みづあをく濁んでる田螺がくいとなきかけるえモシお起きよ、町內の方で歸られやしない、劍術の先生ぐらいを怖いと云つて

お蘭陀お蝶

(279)　渡邊默禪作

布施長春畫

憤然として立揚ると足下に一本の扇子が落ちてあるそれを後の證據に拾ひ取つて、ひよろひよろとした足取で稻荷の境內を出ることは出たが、表口の鳥居の所まで來るとにわかに、ぐら〳〵と眩暈がしてばつたりと大地へ卒倒した、烈しい昂奮と出血とに依つて腦貧血を起したものらしかつた

馬喰町の遠州屋に殘つた平太の女房お菊は、餘りにかへりが遲いので心配した根が田舍者のこと廣い江戸の方角も分らず、もしや迷子になつて自身番の世話になりはせぬかと小兒を案じでござなつたるやうな慈悲心から土地順れたに萩婆さんを賴んで見怪我人だ！人殺しだ！早く血せに道ることにした、ぶらお醫者を持つて來て水を呼提灯を片手に裾からげのおんでお呉れよ……』

×

『さア承知がならない、德とて聞くと疾に歸つて去つたとの挨拶であつた、では柳藏勘藏支度をおし、是れかあとは憤怒に逆立つて切長原の方へ迷て出はせぬかとら千葉の道場へねぢ込んでな目は鋭く血走つてゐた。急ぎ足にお玉稻荷の前を通る出會頭、倒れたお蝶の體をして道るのだ、私も東海に跌いてとんと前へ跪けた道ぢやア些と男を賣つた平太親分の女房なら、亭主の顏に關はるやうな洒落くさい、こんな往來中へ寢轉んで……仕樣のない醉漢だねい眞似をされて此の儘默つて歸られやしない、劍術の先生ぐらいを怖いと云つて

『おうばあさんかい、大丈夫です……水……水』

婆さんはうろ〳〵と四邊を見廻したが、表口の鳥居の下、二人の乾兒は捻鉢卷の尻端折、短刀を懷中に呑ませて手に唾しつゝ躍り立つて殺氣橫ざまにほとばしる

お菊はきりと帶を締直して、護刀を內懷に突込んだなりに、急いで座敷を飛出した、淡青いまゆげすみのあとは憤怒に逆立つて切長な目は鋭く血走つてゐた。

その跡から二人の乾兒も片足ぬぎになつて駈出した……

春の海

(童謠詩)

島田忠夫

春の海潮足のろく膨れけり

一瓢

酒と水、女と秘密とは互に相容れざるの性を有す

バルワー

講談

碧新歌壇

小山田滋選

栗原北斗

○そこゞゝの財へ金も今はつき、ほしき本さい買うすべそなき

○貧しかる吾のくらしのたよりなさ、友の便に返事も出さず

小笠原弘

○ちぎれ雲紅うすれゆく小名濱は汐けぶりつゝ夕づきにけり

高上昇

○歸省して吾が乘る馬はめ馬なれど行き合ふ馬にしきりにいなゝく

飯村長四郎

○霜白き朝をよく晴れ隣屋のカナリヤの鳥なきつのもをり

大學通釋

○之に反しその臣が技ある他人を嫉妬して之を憎み、聖人があると之にゝ何なる功があるとも君に通せずその人を苦め世に現はれしめない、斯く人を容れ國に用ひる事が出來なければ其の國の子孫人民を保んずる事は出來ず遂にはその國も亡んでしまふのである……

實踐卒業式

四倉實

踐商業水產學校第五回卒業

△一一、〇〇〇 陶租記念經濟更生陶磁器座談會

△六、〇〇（子供の時間）ピアノと聲樂　秋田縣立秋田女學校生徒…信光

△六、二五 法話と讀經（法話『人道に就て』讀經『曹洞敎會修證義』）秋田縣金浦町耕博寺住職砂川天然

△六、二五 講演（滿洲事變間に於ける軍隊の衛生狀態）第二師團軍醫部長陸軍軍醫監醫學博士龜井盛隆

△七、〇〇 ニュース、氣象、積雪量

△七、三〇A 名作研究

△八、三〇A 小唄

△八、五〇A ハワイ音樂

△九、三〇A 時報　ニュース　氣象　番組豫告

（◎優等○皆勤△善行）

△一一、〇〇〇 陶租記念經濟更生陶磁器座談會

△六、〇〇（子供の時間）ピアノと聲樂　秋田縣立秋田女學校生徒…信光

△六、二五 法話と讀經（法話『人道に就て』讀經『曹洞敎會修證義』）秋田縣金浦町耕博寺住職砂川天然

△七、〇〇 ニュース、氣象、積雪量

△七、三〇A 名作研究

△八、三〇A 小唄

△八、五〇A ハワイ音樂

△九、三〇A 時報　ニュース　氣象　番組豫告

△一〇、〇〇 講演（中學校長時代の大槻文彥先生）

△一〇、三〇 講演（中學校長時代の大槻文彥先生）

上野勉春

ヒナ人形特價賣出し

桃のお節句が近づきました。東京一流デパート陳列の最新形**木目込人形**各種取揃ました。どうぞ御覽下さい他店に類のない、**お伽噺**の最新人形も澤山陳列して御客樣を御待致して居ります。

平町四丁目角
祐月特製品　**菅野屋商店**
電話一五七番

雛人形御道具類特價大賣出し！

人形御道具類並に高級御殿等例年通り豐富に山積致して有ります。當店は元來御客樣本位主義を以て大勉强致します。是非御來店の程御待ち致します。

平町三丁目本通り
落花生問屋
際物元祖　**叶屋加藤商店**

ヒナ人形大賣出し

水光齋祐月特作品

陳列致しました、是非御出下さい。驚く程勉强致します。御待申て居ります。

平町一二丁目
陳野洋品店

雛人形道具一式特價大賣出し！

古代並に現代人形**特作品豐富**

陳列御客樣本位**大勉强**是非御來覽御用命を。

平町四丁目
スガノヤ提灯店
電話九五番

雛人形雛道具特價賣出し……

久月特製たぼこ人形や古代風人形類を陳列致しました。どうぞ御一覽下さい御待して居ります。

平三町目
金太郎玩具店

磐城佑賢學舍

中等科（中學程度）
女子部（高女程度）
入學願書四月四日迄

平町　城山
（電話九三番）

生徒募集

光輝ある歷史
堅實なる學風

入學の絶好期

洋裁を知らねば恥の時代となりました。時代に添た、スピーディな合理的個人敎授

磐城女子專門學院

新學期開始四月五日。他月每月初日
ミシン無料貸與及び材料貸與の方法あり……
學則郵券三錢封入…自炊寄宿の便あり

平町白銀町拾五番地

創立

生徒募集

入學願書四月四日迄

磐城佑賢學舍

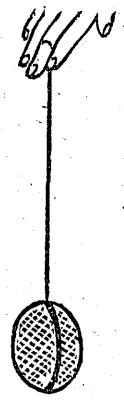
中等科（中學程度）
女子部（高女程度）

平町　城山
（電話九三番）

出來ました

御持參の世界的大流行の玩具の王樣『ヨーヨー』が出來ました、各特約店にて御求めを乞ふ。

附製品に御注意を願ます。當工場製品には『ヨーヨー』の遊び方說明書を進呈致します。



ヨーヨーの：定價　金五十錢　金五十錢

園兒募集

一、募集兒　六拾名
一、規則書　希望者は當園に申込まれたし
一、入園期　四月五日

平町材木町
平信榮幼稚園

募集廣告

一、挽物製作徒弟　五名
一、木取手見習　一名

右ハ本年尋常又ハ高等卒業ノ事、身體健固ニシテ意志强固ナル者

右希望者ハ自筆履歷書に學業成績表を添へ至急御申込ヲ乞フ

各種挽物、丸盆類、木製敎育玩具家具附屬品一式製造

佐藤挽物製作所

平町十五丁目三十番地
電略（ヤマ）又ハ（カノ）

特約店
金太郎玩具店　いづみや玩具店
森下玩具店　花屋商店
イワキ屋便利店

超尖端的御調理

安くておいしい……！

滿洲そば　壹ケ金拾五錢
滿洲うどん

日本そばに滿洲趣味を加へて日滿親善を表現したもの、味は現代的濃厚滋味は國際的に高尚優美御値段は大衆向きに頗る粹にして安價なり。

本日より發賣いたします。

御注文は電話一七一番へ迅速配達いたします。

三月十七日　**さかきや**　田町

スポーツの春麗かなり
精鋭は高月臺に躍る
光彩陸離の磐中競技部全貌

磐中競技部は箱崎遠平（八百）白土正之助（棒高）藥谷力するが名主將箱崎の指導から固定ネット開きをかね正記（四百）鈴木忠（高跳）砂を愛けただけに昨年に劣らた春の磐中對戰こそみ物で田賞（三段）の五選手を送りざる好成績を豫想され二君あらうと今から地方ノアン従來の選手では命成令宣も鈴木と共に新記錄を目指篭手として新入の養成に努ッチリした處を見せてみる（百、二百）鈴木伍平（五千）してゐる、グラウンドの乾の二名を殘すのみとなり一燥を待つて練習を開始し五沫の淋しさを與へてゐるが、月の運動會を期し優秀なる全校の誇りはコーチを賴ま新人を物色ずる外下山田新ず各自團結の下に附近炭鑛部長を迎へた關係から文理競技部と對抗試合をなし技大のコーチを聘する計畫を倆を磨きつつある事で昨年立てトラック・フイールドの如きは縣下大會の二等を共に大努力で縣下の覇堂握占めて中等校の強豪としてしやうと意氣込んでゐる名を揚げた、今春は金成を

躍進の意氣昂る
平商校野球選手
夙くも整ふた新陣容

平商校の野球部は昨年四月守備共に同校の三羽烏である矢野投長の着任以來眼覺しい進歩を遂げ今では磐中とは二回優勝、秋は一勝一敗の輝かしい成績をのこした、新緑薫風の五月頃二十周年記念として商友會から寄附さる固定ネットの建設を前に控へた同校今春の新陣容を見ると

五年生として棹尾の活躍を期待されてゐる捕手游邊は今春もキヤプテンに推され定評ある攻守振りは從來以上の頑張りを豫想され外野はガッチリした体格の新人揃ひで投手の赤坂は昨年盲腸炎で活躍出來なかつたが、この休中渡邊と共に某大學の練習一加はり、福島邊りの強豪を抑えんとする決意と野心に燃え、一壘の菅原は一番打者として勝敗を支配する重要な立場に在る、打擊の勇阿部は二壘として難なく、三壘を守つた森は珍しい強肩で今春から佐々木と交代して遊擊を守る

が、矢野投長この強肩に默つて居る筈がなく、自ら投手としてコーチし樣と快心の微笑を見せてゐるが打擊の胸をわく〳〵させてゐる

青訓修卒業式
平町青訓修卒業式は二十日午後七時から第一小學校に於て擧行するが修業四十餘名、卒業志賀榮一、山口正明の兩君で共に成績優良就中三丁目丸一屋魚店の若主人で ある志賀君は過般の査閱に宮尾中佐から激賞された模範生であると

米多收穫一臺牛
縣主催品評會で
一等當選の鈴木貞義氏（是井）

縣主催堆肥及二毛作品評會褒賞授與式は二十一日午後一時から平國体事務所で行はれるが出品二百九十點中米穀の一等當選以井村鈴木貞義氏は愛國五號を耕作し反當り平作一石九斗に對し四石六斗五升を多收穫の好成績を示した、入賞者左の如し

△大麥1荒井澄（錦）2木村武雄（大野）宇佐見彦太（草野）小宅勇（植田）3鈴木義助（好間）外十六名　△小麥2鈴木末吉（夏井）山野邊良助（錦）3石山藤助（大浦）外四名　△菜種1鈴木英雄（夏井）2齋藤親也（好間）大平洋（植田）外十名　△紫實英1志賀猶與（神谷）2和田忠平（大浦）志賀忠五郎（神谷）赤津長次郎（錦）3青天目西次（勿來）外二十名　△堆肥1赤津政次郎（勿來）2吉の提案で來月から全縣聯縣組合志賀二郎、平鹿民金庫檢擧された

教養ある女性として
其の本領を發揮せよ
高女の卒業式で知事の告辭

磐城高女第二十一回百七十驛頭には抱擁し合つて別れ六名の卒業式は今十八日午を惜んでゐるのが少くなかつ前十時から擧行、木校長た知事の告辭次の如し

（知事告辭）—皆さんは本校に入學以來克く本校敎育の精神を守つて研鑽の功を積まれまして茲に卒業の榮譽を擔はれました事は眞に慶賀に堪えません、皆さんは既に我が國婦人としての高等普通敎育の課程を了へたのであります、時代の趨勢は女子敎育が向上致しますと共に婦人であつて獨立の職業に從事する者も亦多いのでありますが其の家庭にある者も今後は社會的活動が益々多くなりますされば卒業の後も一層婦德を錬磨して確固たる節操を持ち智能を啓發すると共に社會の組織と生活とを正しく理解して常に敎養ある現代女性としての本領を發揮する事に努められまして常々に本校卒業生としての体面を傷けないのみならず、進んで本校敎育の眞價を發揚する覺悟がなければなりません。凡そ社會は兒女の協同によつて成り立ち人類の文化はその協力によつて正しい發展を期する事が出來ます、加ふるに我が國の現情は內外共に誠に寸分の安心を許しませぬ國家の非常時でありますから家庭生活の改善家庭敎育の振興社會の風敎等に於て特にその必要を痛感するのであります。然るに一般婦女子の中には往々にして保守退嬰に流れて修養を怠る者がありますと共に動もすれば女性たるの自覺を忘れて女性獨自の美德と特性とを願ない者がありますのは寔に遺憾とする所であります。皆さんは宜しく婦人の眞の使命を自覺して常に身心の修養と錬磨とを怠らず、現代日本の婦人としてこの美德良能を完成して家庭生活の向上國家の進展の爲に貢獻せられんことを希望する次第であります

一言素懷を述べまして告辭と致します。

從四位勳三等　赤木朝治

山師範片寄登喜雄（內鄕）

小名濱の角海老全燒
今曉三時半鎭火

今曉二時頃小名濱町右港二一料理店角海老事大部キワ方から發火同家及隣家水野三十五分鎭火した、原因其今ない

女將殺し？四家（警間生れ）
依然犯行を否認
成行き注目さる

と飽迄も犯行を否認し證據調べで被告と同棲してゐる日野もよの不利な證證人として警察に呼ばれた酌婦三人が北上川に抱合心中を遂げ當時センセイションをまき起した宮城縣牡鹿郡石卷町住吉の角海老女將言—犯行當日の三月二十五日夜被告は着物のまゝ、上豐間村生れ當時石卷町住吉に寢卷を引かけてねた—と町新丁日野もよ方地廻り點で極力これを否認した。四家政男（三六）にかゝる殺人辯護人から日野もよ外十事件の第二回公判は十六日二名の證人申請および實地午前十一時から仙臺地方裁檢證を求め裁判所會議の結判所島津裁判長係り關川檢果來る二十六日午後一時か事、北村、道水、菊地各辯ら實地檢證を行ふ事となり護人立會で開廷された、被證人決定は一先づ留保するこゝとなつたが有力な證人告は警察で誘導訊問をうけ警官が勝手にこしらへた自白であつて自分は關知してゐる

佑賢卒業式
平町私立佑賢學舍第二十回卒業式は明二十日午前九時から擧行すると

女將殺し？四家（警間生れ）
依然犯行を否認
成行き注目さる

滿洲から貧困者へ
手當を節約して義捐
郡司看護兵の篤行

滿洲獨立守備派遣遊陽衛戍病院附看護兵平町六丁目米穀商吉男氏弟郡司朝男君は今十八日金四圓也を送貧困者へと今月以降の退轉學生は

中等學校退學者數
前年より兩三名增

平町各中等校に於ける昨年四月以降の退轉學生は平商三七、磐中三五、高女二〇の多數で昨年より兩三名の增加を示した

産科婦看護婦卒業式
廿日兩校で擧行

平町一丁目石城産科婦看護婦學校では二十日午後一時から南町平産婆看護婦學校で同二時から何れも左記で擧行する卒業式を擧行する

（イロハ順）

石城—（一丁目）看護婦科○印産婆兼修卒業○伊藤キミ子（小名濱）○伊藤モト（好間）○猪狩タツ（平）猪狩恭子（四倉）濱崎ハマエ（久ノ浪）○榛澤瀧子（赤井）羽下キヨエ（平）○新妻マイ（廣野）○小野田瀧（刈野）○金成文子（赤井）○上遠野雪子（泉）○菅野ヨシ子（好間）○金成ミツ（好間）○吉田アイ子（平）○高本豊子（平）○竹內スエ（好間）○中野信子（神谷）永山キヨ（平）村田セイ（平）○遠藤喜子（四倉）○遠藤フク（豊間）○草野テル子（小川）○山川はつ（好間）○山口八千代（平）山邊民子（草野）○山田キミ（好間）○小松輝代（湯本）天野ちよじ（好間）○青柳カチエ（湯本）○青木ハル（泉）○赤津シマ（植田）○赤津順子（植田）○佐久間ハツイ（小野新町）○作山絹枝（廣野）○佐藤秀子（赤井）○佐藤シヅエ（磐崎）○佐藤スミ子（神谷）○佐川ツミエ（平）○木村スサ子（神谷）○峯口彪女（植田）○司ヶ子（夏井）○篠崎喜代（神谷）○物江ハツイ（猪苗代）○鈴木アサヨ（湯本）鈴木一枝（赤井）鈴木ミヨ（四倉）○鈴木チエ（內鄕）○鈴木トメヨ（七年拾月卒業）馬目津京（日立）岩佐綾（內鄕）小池朝與（郡山）佐藤愛子（四倉）（産婆科）大谷欣子（上遠野）吉田コウ（刈野）駒木根壽子（內鄕）○石井ミネ（平）猪狩イク（平）新妻貞子（平）○飛田フデヨ（好間）○薬谷トキ（內鄕）○加藤ミイ（平）輕部はる（平）高木萩野（入遠野）高木ミ（好間）武田テルヱ（平）○丹野テル（玉川）○鵜沼ミサヲ（夏井）根本トミヨ（平窪）○魚住テエ（內鄕）○大峯ムキ（豊間）大木ウメ子（平）栗崎ミヨ（內鄕）○小野キヨ（玉川）○松本イセ（龍田）松崎キヨ（平窪）○杉田吉代（小川）○飯塚テ（內鄕）○佐藤セイ（赤井）○佐藤マサ（同）佐久間キサ（好間）○宍河江キエ（內鄕）坂本キミ（江名）木村竹子（好間）○北野タケ（平）○綠川鈴江（上遠野）○志田ミノ（平）○澁谷キミノ（郡山）○平崎艶子（內鄕）○鈴木サダ（平）○鈴木米子（平）○鈴木ツヤ子（平）○鈴木かくり（好間）○鈴木ハルヨ（小川）鈴木政子（內鄕）○鈴木節子（龍田）（産婆科）道內千代女（平）後藤ミネ（平）佐藤ツメノ（平）本瀧トミ（磯原）鈴木キヨ（內鄕）

郷土短歌人間に
大同團結の氣運
近く同人から聲明書發表

詩壇社解体
脫退が續出して
寄合世帶に暗い翳
維持に腐心する團体事務所

郡廳後の寄合世帶として設けられた平各種團体事務所は最初

渚三郡木炭同業、郡養蠶驛前農業倉庫に移轉した外郡同業、郡產馬畜產各組合木炭組合は五月限り解散に信用組合聯合會出張所、決定したので團体數が半減產業組合郡部會、郡農會し漸く維持困難となり近く愛谷江筋、小川目筋、鮫川協議の上極力維持費の輕減時水利、石城販賣利用各組合を行つて存續する事となつた合、縣農業技術員出張所た

郡下十數ケ所を荒す
浮浪の鼠賊檢擧さる

當時住所不定無職由形縣生格三十五圓を窃取した外郡事件の第二回公判は去る三日磐崎村馬玉働き昨十七日午後三時頃內判所島津裁判長係り關川檢事、北村、道水、菊地各辯護人立會で開廷された、被證人決定は一先づ留保するこゝとなつたが有力な證人告は警察で誘導訊問をうけ警官が勝手にこしらへた自白であつて自分は關知してゐる

磐中人國記 八四
赤井嶽男記

第八回生の卷 H

◇新宮氏＝片澤氏

平町掻槌小路の醫師新宮新太郎氏の長男健雄氏は青山學院の英語科を出で大阪の西區商業學校に敎鞭を執つてゐたが退職して昨今は步兵少尉から瀧の川の醸造業へ入つた諸橋嘉吉氏は青森縣の淺町に櫻寫眞を經營。

◇諸橋氏＝鈴木校長

新川町諸橋呉服店の長男つた鈴木重四郎氏は中央敎生に生れ乍ら寫眞方面に異常習所を出て高崎檢事所主任の天才を有して遂に其の途草野村の松本彦助氏は、憲へ入つた諸橋嘉吉氏は青森政會から推されて縣會議員に當選間も無く物故した一縣の淺町に櫻寫眞を經營。

◇鈴木技手松本行員

夏井出身で夙く鐵道へ入り十時より例の如く第八回卒れば努めて判斷力を養成せ業證書授與式を執行せられ度しとの訓辭を述べ植竹校長も卒業生の將來に就て乾杯の音頭を取つて祝辭を朗讀す。（後略）

佑賢卒業式
平町私立佑賢學舍第二十回卒業式は明二十日午前九時から擧行すると

女將殺し？四家（警間生れ）
依然犯行を否認
成行き注目さる

滿洲から貧困者へ
手當を節約して義捐
郡司看護兵の篤行

滿洲獨立守備派遣遊陽衛戍病院附看護兵平町六丁目米穀商吉男氏弟郡司朝男君は今十八日金四圓也を送貧困者へと今月以降の退轉學生は

中等學校退學者數
前年より兩三名增

平町各中等校に於ける昨年四月以降の退轉學生は平商三七、磐中三五、高女二〇の多數で昨年より兩三名の增加を示した

産科婦看護婦卒業式
廿日兩校で擧行

平町一丁目石城産科婦看護婦學校では二十日午後一時から南町平産婆看護婦學校で同二時から何れも左記で擧行する卒業式を擧行する

（イロハ順）

石城—（一丁目）看護婦科○印産婆兼修卒業○伊藤キミ子（小名濱）○伊藤モト（好間）○猪狩タツ（平）猪狩恭子（四倉）濱崎ハマエ（久ノ浪）○榛澤瀧子（赤井）羽下キヨエ（平）○新妻マイ（廣野）○小野田瀧（刈野）○金成文子（赤井）○上遠野雪子（泉）○菅野ヨシ子（好間）○金成ミツ（好間）○吉田アイ子（平）○高本豊子（平）○竹內スエ（好間）○中野信子（神谷）永山キヨ（平）村田セイ（平）○遠藤喜子（四倉）○遠藤フク（豊間）○草野テル子（小川）○山川はつ（好間）○山口八千代（平）山邊民子（草野）○山田キミ（好間）○小松輝代（湯本）天野ちよじ（好間）○青柳カチエ（湯本）○青木ハル（泉）○赤津シマ（植田）○赤津順子（植田）○佐久間ハツイ（小野新町）○作山絹枝（廣野）○佐藤秀子（赤井）○佐藤シヅエ（磐崎）○佐藤スミ子（神谷）○佐川ツミエ（平）○木村スサ子（神谷）○峯口彪女（植田）○司ヶ子（夏井）○篠崎喜代（神谷）○物江ハツイ（猪苗代）○鈴木アサヨ（湯本）鈴木一枝（赤井）鈴木ミヨ（四倉）○鈴木チエ（內鄕）○鈴木トメヨ（七年拾月卒業）馬目津京（日立）岩佐綾（內鄕）小池朝與（郡山）佐藤愛子（四倉）（産婆科）大谷欣子（上遠野）吉田コウ（刈野）駒木根壽子（內鄕）○石井ミネ（平）猪狩イク（平）新妻貞子（平）○飛田フデヨ（好間）○薬谷トキ（內鄕）○加藤ミイ（平）輕部はる（平）高木萩野（入遠野）高木ミ（好間）武田テルヱ（平）○丹野テル（玉川）○鵜沼ミサヲ（夏井）根本トミヨ（平窪）○魚住テエ（內鄕）○大峯ムキ（豊間）大木ウメ子（平）栗崎ミヨ（內鄕）○小野キヨ（玉川）○松本イセ（龍田）松崎キヨ（平窪）○杉田吉代（小川）○飯塚テ（內鄕）○佐藤セイ（赤井）○佐藤マサ（同）佐久間キサ（好間）○宍河江キエ（內鄕）坂本キミ（江名）木村竹子（好間）○北野タケ（平）○綠川鈴江（上遠野）○志田ミノ（平）○澁谷キミノ（郡山）○平崎艶子（內鄕）○鈴木サダ（平）○鈴木米子（平）○鈴木ツヤ子（平）○鈴木かくり（好間）○鈴木ハルヨ（小川）鈴木政子（內鄕）○鈴木節子（龍田）（産婆科）道內千代女（平）後藤ミネ（平）佐藤ツメノ（平）本瀧トミ（磯原）鈴木キヨ（內鄕）

郷土短歌人間に
大同團結の氣運
近く同人から聲明書發表

詩壇社解体
脫退が續出して
寄合世帶に暗い翳
維持に腐心する團体事務所

郡廳後の寄合世帶として設けられた平各種團体事務所は最初

渚三郡木炭同業、郡養蠶驛前農業倉庫に移轉した外郡同業、郡產馬畜產各組合木炭組合は五月限り解散に信用組合聯合會出張所、決定したので團体數が半減產業組合郡部會、郡農會し漸く維持困難となり近く愛谷江筋、小川目筋、鮫川協議の上極力維持費の輕減時水利、石城販賣利用各組合を行つて存續する事となつた合、縣農業技術員出張所た

郡下十數ケ所を荒す
浮浪の鼠賊檢擧さる

當時住所不定無職由形縣生格三十五圓を窃取した外郡事件の第二回公判は去る三日磐崎村馬玉働き昨十七日午後三時頃內判所島津裁判長係り關川檢事、北村、道水、菊地各辯護人立會で開廷された、被證人決定は一先づ留保するこゝとなつたが有力な證人告は警察で誘導訊問をうけ警官が勝手にこしらへた自白であつて自分は關知してゐる

磐中人國記 八四
赤井嶽男記

第八回生の卷 H

◇新宮氏＝片澤氏

平町掻槌小路の醫師新宮新太郎氏の長男健雄氏は青山學院の英語科を出で大阪の西區商業學校に敎鞭を執つてゐたが退職して昨今は步兵少尉から瀧の川の醸造業へ入つた諸橋嘉吉氏は青森縣の淺町に櫻寫眞を經營。

◇諸橋氏＝鈴木校長

新川町諸橋呉服店の長男つた鈴木重四郎氏は中央敎生に生れ乍ら寫眞方面に異常習所を出て高崎檢事所主任の天才を有して遂に其の途草野村の松本彦助氏は、憲へ入つた諸橋嘉吉氏は青森政會から推されて縣會議員に當選間も無く物故した一縣の淺町に櫻寫眞を經營。

◇鈴木技手松本行員

夏井出身で夙く鐵道へ入り十時より例の如く第八回卒れば努めて判斷力を養成せ業證書授與式を執行せられ度しとの訓辭を述べ植竹校長も卒業生の將來に就て乾杯の音頭を取つて祝辭を朗讀す。（後略）